

弘前大学教育学部附属中学校  
3年生による展覧会 vol.8

# ひろふ弘前 まんじ札展



すべて多版多色木版画です



来場者にまんじ札差し上げます



月日 2022年 8月6日(土)~8日(月)  
時間 6日(土) 13:00-17:00  
7日(日) 10:00-17:00  
8日(月) 10:00-14:00  
場所 HIROSAKI ORANDO(百石町)



連絡先 弘前市学園町1-1  
弘前大学教育学部附属中学校  
美術科担当 蒔苗靖子 0172(32)7201

# ひろふ弘前まんじ札展によせて

美術科 蒔苗靖子

### 三. 3年生による展覧会は8回目

こうして、生徒自身が「弘前」を学び、調べ、そこからテーマを決めた「ひろふ弘前まんじ札」が完成し、今回の展覧会が二回目となります。  
三年生による毎年の展覧会としては、「ひろふ動物園展」などを含めて八回目となりました。版画作品は、大人の私たちには気づかなかつた弘前の良さや、今の中学生が地域をどのように見ているのかを発見できる作品ばかりです。

### 二. 美術の授業になるまで

この授業は、「多版多色木版で弘前まんじ札をつくる」という美術の授業です。量産した作品を札状にし、展覧会を開き、来場した方に摺った「まんじ札」を差し上げる企画です。この授業の題材化に向けては、平成三十年から実に様々な方にお世話になりました。  
まずは平成まんじ札を復活させていた弘前の青年会議所を訪ね、巻物や古文書のように貼られたまんじ札をお借りし、授業で紹介しました。更に当時、弘前市立博物館学芸員であった棟方隆仁氏を出前講座でお招きし、「津軽の歴史と藩主の時代」をテーマに講義をしていただきました。棟方さんの楽しい講義は、生徒の新たな発想を引き出してくれました。そして、多版多色木版を行うにあたり、弘前大学教育学部美術教育講座の佐藤光輝先生からは宇田川新聞さんの版画を紹介していただきました。多様な表現とレトロな味わいに、私自身がすっかり虜になりました。宇田川氏の版画は某TV番組で使用されているので、生徒にとってはとても親しみやすかったです。

### 一. まんじ札との出会い

「まんじ札」とは、主に夏休み中、弘前のお店・施設で無料配布されていたお札のことです。地元の子どもたちに弘前の町歩きをしてほしいという願いから行われてきたこの素敵なシステムは、それぞれの店舗の個性的なデザインを生み出してきました。弘前をイメージした札を多版多色木版でつくることをとおして、地域の良さと日本の美術の美しさを実感してもらいたいと思えました。

### 四. りんご和紙との出会い

更に今回の展覧会では、佐藤先生から「りんご和紙」に版画を摺る」というご提案をいただき、「弘前大学 りんご／さくら和紙研究会」よりいただいた「りんご和紙（佐藤先生がドーサ引きをして摺り紙用にしてくださったもの）」の使用を試みました。  
生徒曰く、市販の摺り紙よりも水彩絵の具を吸ってくれるので、摺りやすいということでした。一番よく摺れた作品は額装し展示されていますが、来場者に差し上げるまんじ札の中に、りんご和紙に摺られた作品があるかもしれません。ぜひ手にとって、作品とともに味わっていただきたいと思っています。

中学生だった皆さんが、やがて浮世絵の美しさを、そして郷土の版画を世界で語る日が来たら、誇りをもって日本の美術の美しさを語ってほしいと願っています。

### 会場の感染対策について

- ・発熱のある方は御遠慮願います。
  - ・手指消毒、検温、マスク着用、来場用紙への記入をお願いしております。
- 御協力をよろしくお願いいたします。

